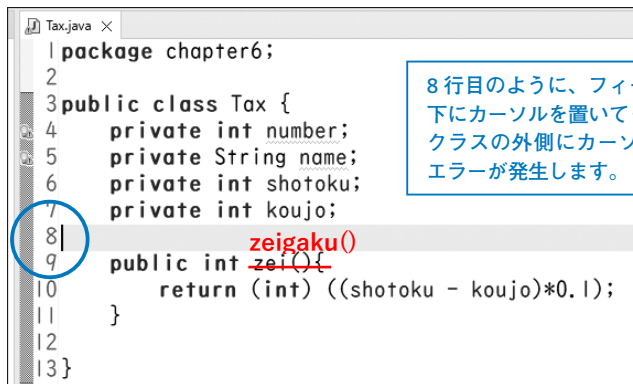


タは、Tax クラスの機能で、オブジェクトを作成する時に、フィールドに初期値をセットします。レコードでは、自動生成されるのですが、一般的なオブジェクトでは、プログラマが作成しなくてはなりません。これを作成していなかったことが原因でした。

そこで、Tax クラスの中にコンストラクタを作成しましょう。Eclipse の機能で自動生成できるので、作成は簡単です。次の手順で作成してください。

手順：コンストラクタの自動生成

- ①カーソルをフィールド定義の次の行に置く



```

1 package chapter6;
2
3 public class Tax {
4     private int number;
5     private String name;
6     private int shotoku;
7     private int koujo;
8 |
9     public int zeigaku()
10         return (int) ((shotoku - koujo)*0.1);
11 }
12
13 }

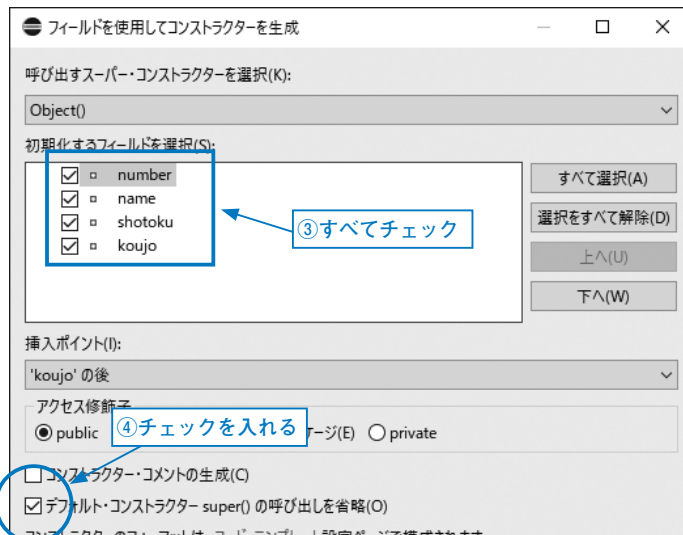
```

8 行目のように、フィールド定義の下にカーソルを置いてください。クラスの外側にカーソルがあると、エラーが発生します。



解説動画

- ②メニューから、[ソース]⇒[フィールドを使用してコンストラクターを生成]と選択する
⇒生成ダイアログが開く
- ③ダイアログですべてのフィールドにチェックが入っていることを確認する
- ④[デフォルト・コンストラクター super() の呼び出しを省略]にチェックを入れる



- ⑤[生成] ボタンを押す